

製品名: ガンマチューブリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00035**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、サル、その他、ハムスター、ウシ、その他、魚類、アフリカツメガエル、トロピカリス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	TUBG1
別名	TUBG1; TUBG; Tubulin gamma-1 chain; Gamma-1-tubulin; Gamma-tubulin complex component 1; GCP-1
遺伝子 ID	7283
SwissProt ID	P23258
免疫原	ヒトγチューブリンの合成ペプチド

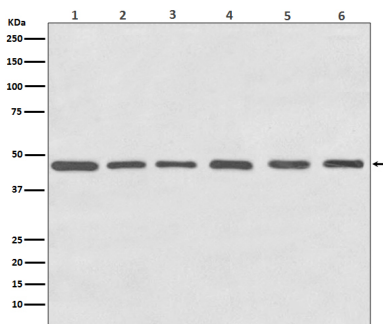
背景

TUBG1 チューブリンは微小管の主成分です。γ チューブリンは、紡錘体極や中心体などの微小管形成中心（MTOC）に存在します。α/β チューブリンのマイナス端核形成、中心体複製、そして紡錘体形成を制御する中心体周囲マトリックスの構成要素です。GCP2 および GCP3 と相互作用します。B9D2 と相互作用します。CDK5RAP2 と相互作用します。

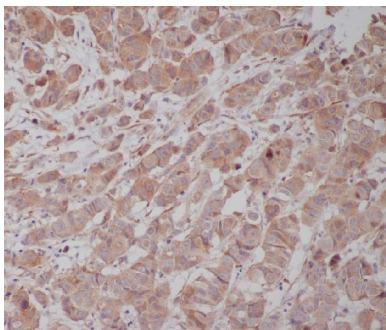
研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa ライセート、(2) NIH 3T3 ライセート、(3) C6 ライセート、(4) ゼブラフィッシュライセート、(5) COS1 ライセート、(6) MDCK ライセートにおけるγ チューブリン抗体を用いたチューブリンγのウェスタンブロット分析。



チューブリン ガンマ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。